

平成29年6月8日

九州数学教育会会員様  
九州地区各教育委員長様  
九州地区各学校長様  
九州算数・数学担当者様

主催 公益社団法人九州数学教育会  
宮崎県数学教育会  
後援 公益社団法人日本数学教育学会  
宮崎県教育委員会  
宮崎縣市町村教育委員会連合会



## 第71回 九州数学教育会総会 並びに 九州算数・数学教育研究(宮崎)大会のご案内(第2次案内)

平成29年7月26日・27日・28日、宮崎市において標記の大会(略称：九数教宮崎大会)を開催いたします。

本年3月に小・中学校の新しい学習指導要領が発表されました。「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」が問われています。学力の3要素を身につけるために「主体的な学び、対話的な学び、深い学び」が求められており、算数・数学教育においても新たな展開が望まれているところです。そういった折、宮崎県で算数・数学教育研究大会が開催できますことは誠に光栄であり、開催県として身の引き締まる思いが致します。

さて、本大会では、全体の研究主題を『主体的な学びのある算数・数学教育』と掲げました。授業の中で子どもたちが主体的学びを行うために我々教師は如何にあるべきか、何をなすべきか、といったことを具体的に提案し、ご参加いただいた先生方とともに深い議論を行い、新しい時代に必要となる資質・能力について共に追究してまいりたいと思っております。

つきましては、本大会の趣旨や意義をご理解の上、関係の先生方の多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

九州数学教育会会長 飯田 慎司  
宮崎大会実行委員長 添田 佳伸

### 1 研究主題 「主体的な学びのある算数・数学教育」 2 日 程

月日	行 事			会 場
7/26 (水)	13:00 事務局長会議 (50) 14:00 九州数学教育会理事会 (50) 15:00 算数・数学教育研修会 (60) 16:10 九州数学教育会総会・代表委員会 (80) 17:50 レセプション			シーガイアコンベンションセンター
7/27 (木)	9:05 受付 (25) 9:30 開会行事 (30) 10:00 全体講演 (60) 11:00 諸連絡 (10)			【全体会場】 メディキット県民文化センター演劇ホール
	<b>小学校部会</b>	<b>中学校部会</b>	<b>高等学校部会</b>	【各部会行事・講演会場】 小学校：文化センター演劇ホール 中学校：文化センターイベントホール 高等学校：シーガイア コンベンションセンター  【分科会場】 小学校：宮崎大学教育学部附属小学校 中学校：宮崎大学教育学部附属中学校 高等学校：シーガイア コンベンションセンター
	11:30 部会開会行事 (20) 11:50 部会講演 (60) 12:50 移動・昼食 (70) 14:00 分科会 14:00 分科会① (40) 14:50 分科会② (40) 15:40 分科会③ (40) 16:30 分科会④ (40) 17:10 終了	11:30 部会開会行事 (20) 11:50 部会講演 (60) 12:50 移動・昼食 (70) 14:00 分科会 14:00 分科会① (50) 15:00 分科会② (50) 16:00 分科会③ (50) 16:50 終了	11:10 移動・昼食 (80) 12:30 部会開会行事 (20) 12:50 部会講演 (60) 14:10 分科会 14:10 分科会① (40) 15:00 分科会② (40) 15:50 分科会③ (40) 16:40 分科会④ (40) 17:20 終了	
7/28 (金)	8:30 受付 (30) 9:00 公開授業① (45) 10:00 公開授業② (45) 11:00 授業研究 (60) 12:00 終了	9:00 受付 (30) 9:30 公開授業 (50) 10:40 授業研究 (50) 11:30 終了	9:30 受付 (20) 9:50 公開授業 (50) 11:00 授業研究 (50) 11:50 終了	【公開授業会場】 小学校：宮崎大学教育学部附属小学校 中学校：宮崎大学教育学部附属中学校 高等学校：宮崎県立宮崎北高等学校

※高専・大学部会は、両日とも高校部会に合流してください

3 研究大会 参加費 4,500円

4 大会案内 次ページ

# 小学校部会

## 部会研究主題 「能動的な学びのある算数科学習の展開」

<b>27 (木)</b>	開会行事	会場：メディキット県民文化センター演劇ホール	11:30~11:50
	部会講演	演題：主体的・対話的で深い学びのある算数授業 講師：細水 保宏 先生 明星学苑教育支援室長兼明星大学客員教授	11:50~12:50
	分科会	会場：宮崎大学教育学部附属小学校	14:00~17:10

分科会	発表題目	発表者	所属	発表県	指導助言者
1. 教育課程	『学ぶ楽しさを実感する授業の創造』	水上 洋平	益城町立広安小学校	熊本	今井 一仁 (福岡教育大学) 川口 直 (宮崎県教育庁)
	『数理のよさを実感する算数科学習指導計画』	川本 康介	長崎市立外海黒崎小	長崎	
	『主体的に学び合い、学び続ける子どもの育成』 ～6年「場合の数」の実践を通して～	財津あずさ	別府市立境川小学校	大分	
	『能動的な学びを促す算数科学習の展開』 ～学力向上のための授業展開や教育課程上の工夫を通して～	高田 和彦	延岡市立一ヶ岡小学校	宮崎	
2. 学習指導法と評価	『学びのゴールを意識させる指導と評価』 ～低学年から始める自己評価活動～	田中美由紀	多市立東原庫舎中央校	佐賀	山口 武志 (鹿児島大学) 島崎 賢司 (中部教育事務所)
	『子どもが「わかる・できる・やってみたい」を実感する、算数科の意欲持続型授業モデルの開発』	小林 裕貴	北九州市立城野小学校	福岡	
	『自ら考え豊かに表現する算数科指導の工夫』 ～思考の視覚化を活用した指導を通して～	平岡 正臣	日向市立細島小学校	宮崎	
	『分数の理解を深める学習指導』 ～第5学年における授業実践を通して～	橋元 泰幸	南九州市立川辺小学校	鹿児島	
3. 数と計算	『活用する力』を育成する指導の工夫 ～「ずれ」を生かした対話型授業づくりとつながりを重視したかく活動を通して～	宮城 紀幸	沖縄市立美原小学校	沖縄	森 力 (琉球大学) 木根 主税 (宮崎大学)
	『共に学び合い、考えを高め合うことのできる算数科学習の展開』 ～学び合いの在り方や方法の工夫を通して～	吉行 順一	新富町立新田小学校	宮崎	
	『対話を通して、自ら考えを深めていく算数科指導法の研究』	森 貴央	別府市立山の手小学校	大分	
	『活用力を高める授業の創造』 ～第3学年「わり算」「あまりのあるわり算」の実践を通して～	篠田 啓子	熊本市立尾ノ上小学校	熊本	
4. 量と測定	『主体的に学習活動に取り組む児童の育成』 ～ユニバーサルデザインの視点に立った授業の工夫改善を通して～	堀内 順一	宮崎市立楳北小学校	宮崎	山本 信也 (熊本大学) 岩下 智裕 (宮崎市教育委員会)
	『量感を豊かにする学習指導法の研究』 ～第3学年「重さ」の指導を通して～	東 幸司	指宿市立大成小学校	鹿児島	
	『自分の考えをもち、伝え合う子供の育成』 ～算数における「ねりあげ」の指導の工夫を通して～	柴原 洋水	壱岐市立鯨伏小学校	長崎	
	『自ら考え、表現する子供が育つ算数科学習』 ～複線型の問題解決学習を取り入れた単元作りを通して～	重富 俊彦	佐賀市立本庄小学校	佐賀	
5. 図形	『立体の位置関係を説明する第4学年算数科学習』	石橋 伸英	糸島市立加布里小学校	福岡	川崎 道広 (大分大学) 平田 智希 (南部教育事務所)
	『3年生 図形領域で「深い学び」に向かうための指導の工夫』 ～言語を結び付ける活動を通して～	重松 優子	別府市立南小学校	大分	
	『数学的な思考力・表現力を育む指導の工夫』 ～思考過程を表現する活動を通して～	澤紙 秀典	那覇市立開南小学校	沖縄	
	『基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、数学的な思考力判断力を育成する指導の在り方』 ～「図形」領域における学習指導過程の工夫と算数的活動の充実を通して～	甲斐 裕之	日南市立吾田東小学校	宮崎	
6. 数量関係	『根拠を明らかにしながら実践化していくことのできる子どもの育成』 ～表・図・グラフで数値化する活動を通して～	西小野有沙 三宅 倅平	霧島市立天降川小学校	鹿児島	瀧川 真也 (佐賀大学) 坂田 繁洋 (宮崎大学)
	『数学的な考え方や方法を身に付ける指導に関する研究』 ～言葉・数・式・図・表・グラフの系統的な指導を通して～	長谷川美加 森田 貴子	島原市立第一小学校	長崎	
	『現実的表現から図的表現への変換に関する一考察』 ～第2学年「かくれた数はいくつ」のテープ図の学習を通して～	下石 暢彦	都城市立明道小学校	宮崎	
	『分かる喜びと生活の有用感を生み出す指導法の工夫』 ～生活場面を意識させる単元構成の工夫を通して～	前田 潤樹	佐賀市立高木瀬小学校	佐賀	
7. 問題解決	『子どもに問いをもたせる算数科の授業づくり』	坂田 一郎	芦北町立田浦小学校	熊本	杉野本勇氣 (長崎大学) 渡邊 耕二 (宮崎国際大学)
	『能動的な学びを促す算数科学習の展開』 ～算数科の授業において、日常的に主体的な「問い」を生み、「学び合い」を促す工夫と手立～	藤元 聡枝	小林市立栗須小学校	宮崎	
	『数学的な思考力・表現力を育む主体的・対話的な学びの工夫』 ～つまづきを生かした指導の工夫と振り返り場面での自己評価を通して～	仲地 由彰	糸満市立高嶺小学校	沖縄	
	『十進位取り記数法の仕組みを基に数の表し方を理解する算数科学習』 ～第3学年「大きい数のしくみ」を通して～	村部 健太	福岡市立花畑小学校	福岡	

<b>28 (金)</b>	公開授業 授業研究	会場：宮崎大学教育学部附属小学校	9:00~12:00
---------------	--------------	------------------	------------

学年	単元	授業者(所属)	指導助言者(所属)
1年	よみとるさんすう(あさがお)	日高 貴善 (五ヶ瀬町立鞍岡小学校)	今井 一仁 (福岡教育大学)
	おなじ量ずつ	野邊麻衣子 (宮崎大学教育学部附属小学校)	山口 武志 (鹿児島大学)
2年	たし算とひき算の筆算	甲斐 淳朗 (宮崎市立池内小学校)	森 力 (琉球大学)
	ふえたりへったり	齊藤 正行 (美郷町立北郷小学校)	坂本 結香 (県教育研修センター)
3年	三角形	桑原 麻里 (宮崎市立大淀小学校)	川崎 道広 (大分大学)
	たし算とひき算の筆算	宇戸田 貢 (延岡市立恒富小学校)	瀧川 真也 (佐賀大学)
4年	面積	鈴木 直子 (国富町立木脇小学校)	杉野本勇氣 (長崎大学)
	変わり方	中西 英 (宮崎市立加納小学校)	山本 信也 (熊本大学)
5年	分数	佐野 工 (宮崎市立東大宮小学校)	渡邊 耕二 (宮崎国際大学)
	円柱と角柱	鬼島 英子 (宮崎市立住吉小学校)	坂田 繁洋 (宮崎大学)
6年	変わり方を調べて	佐多 修 (宮崎市立大塚小学校)	平田 智希 (南部教育事務所)
	場合を順序よく整理して	吉國 恭子 (宮崎市立住吉南小学校)	木根 主税 (宮崎大学)

# 中学校部会

## 部会研究主題 「主体的な学びを高める数学教育」

27 (木)	開会行事	会場：メディキット県民文化センターイベントホール	11:30~11:50
	部会講演	演題：「新教育課程における統計教育の在り方について ～求められる資質・能力への対応と具体的な教材事例を交えて～ 講師：青山 和裕 先生 愛知教育大学准教授	11:50~12:50
	分科会	会場：宮崎大学教育学部附属中学校	14:00~16:50

分科会	発表題目	発表者	所属	発表県	指導助言者
1. 教育課程	『数学的に考える力を育む学習指導法の工夫』 ～知識・技能の定着と数学的活動を通して～	松尾 順平	福岡市立原北中学校	福岡	吉村 昇 (熊本大学) 平山 浩之 (宮崎大学)
	『生徒の表現力を高めさせるための授業づくり』 ～方程式の単元を通して～	坂本 和重	唐津市立第一中学校	佐賀	
	『学力向上を目指す 生徒の育成』 ～数学的に伝える生徒の育成を通して～	谷山 裕亮	都城市立中郷中学校	宮崎	
2. 数と式	『「より深い学び」につなげる数学科学習指導法の研究』 ～「考えたい問」の設定と評価活動を取り入れた学習過程を通して～	中村 美菜	みやま市立瀬高中学校	福岡	島袋 修 (長崎大学) 辻川 亨 (宮崎大学)
	『数学的な思考力・表現力を育てる指導の工夫』 ～めあて設定とまとめ・振り返りの工夫を通して (第2学年)～	中田 和樹	南城市立玉城中学校	沖縄	
	『基礎的・基本的な計算技能の向上を目指した指導の工夫』 ～音声計算トレーニングの実践を通して～	鮫島 順子	日向市立日向中学校	宮崎	
3. 関数・資料の活用	『身近な事象と結びつけた関数指導』 ～レポート作成を通して～	久間 裕希	対馬市立佐須奈中学校	長崎	和田 信哉 (鹿児島大学) 出原 浩史 (宮崎大学)
	『関数領域における中高の系統性を意識した指導の考察』 ～2乗に比例する関数から2次関数へ～	森 敏之	鹿児島県立楠井中学校	鹿児島	
	『主体的・協働的な関数の指導のあり方』 ～アクティブラーニングを導入した授業づくりを通して～	蔵屋 瑞代	都城市立高城中学校	宮崎	
4. 図形	『中高のつながりを意識した数学の指導』 ～図形領域の取り組みを通して～	長野 宏顕	伊万里市立南波多中学校	佐賀	中川 裕之 (大分大学) 庄田 敏宏 (佐賀大学)
	『学び合いによる図形領域の指導』	野口 幸一	五島市立富江中学校	長崎	
	『基礎的・基本的な知識及び技能を活用した思考力・表現力の育成』 ～主体的・対話的で深い学び合い活動を通して～	青木 創	高鍋町立高鍋西中学校	宮崎	
5. 数学的な考え方	『過程を大切に授業づくり』 ～数学的な思考力を育むための工夫～	末藤 美妃	玉名市立有明中学校	熊本	岩田 耕司 (福岡教育大学) 河野 和弘 (宮崎県教育庁)
	『数学的な思考力・表現力の育成』 ～「学習課題の設定」と「積極的に交流・探究させる手立て」の工夫を通して～	古市 正直	鹿児島市立吉田南中学校	鹿児島	
	『数学的な思考力・表現力を育てる授業のあり方』 ～思考力・表現力を育てる学習指導の工夫を通して～	黒木 直子	小林市立細野中学校	宮崎	
6. 学習指導法	『視聴覚教材の活用と学び合いの活動の充実』 ～関数の具体的な事象を通して～	古莊 信忠	日出町立日出中学校	大分	日熊 隆則 (琉球大学) 川添 卓哉 (北部教育事務所)
	『思考力・判断力・表現力を育成する指導の工夫』 ～問題設定の工夫と協働的な学びを通して (第2学年)～	平田美和子	南城市立大里中学校	沖縄	
	『「数学的な表現力・思考力・判断力」を育成するための実践的な研究』 ～レポート課題の活用を通して～	矢野 秀平	日南市立飫肥中学校	宮崎	
7. 評価	『授業における形成的評価と総括的評価の工夫』 ～問題解決の授業における指導と評価の一体化～	光永 朋樹	芦北町立佐敷中学校	熊本	谷本 洋 (宮崎大学) 坂本 結香 (県教育研修センター)
	『すべての子どもが進んで参加する数学教育はどうあればよいか』 ～メタ認知ストラテジーを取り入れた「問題解決型授業展開」とその評価の在り方～	三田 祐也	中津市立中津中学校	大分	
	『PDCAサイクルを通じた授業改善と評価の在り方』 ～Web学習単元評価システムの活用を通して～	藤川比呂美	高千穂町立田原中学校	宮崎	

28 (金)	公開授業 授業研究	会場：宮崎大学教育学部附属中学校	9:30~11:30
--------	--------------	------------------	------------

学年	単元	授業者 (所属)	指導助言者 (所属)	
1 年	文字の式	吉田 英治 (宮崎市立大淀中学校)	岩田 耕司 (福岡教育大学)	下野 隆平 (北部教育事務所)
	変化と対応	甲斐 一陽 (県立宮崎西高等学校附属中学校)	島袋 修 (長崎大学)	谷本 洋 (宮崎大学)
2 年	連立方程式	日高 佑美 (宮崎市立大塚中学校)	庄田 敏宏 (佐賀大学)	日熊 隆則 (琉球大学)
	一次関数	壺岐 孝平 (宮崎市立生目台中学校)	和田 信哉 (鹿児島大学)	川口 直 (宮崎県教育庁)
3 年	二次方程式	岡本 圭司 (宮崎市立生目中学校)	中川 裕之 (大分大学)	島崎 賢司 (中部教育事務所)
	標本調査	元田 正幸 (宮崎大学教育学部附属中学校)	吉村 昇 (熊本大学)	平山 浩之 (宮崎大学)

# ◇ 高等学校部会

## 部会研究主題 「主体的な学びが生まれる数学教育」

<b>27 (木)</b>	開会行事	会場：シーガイアコンベンションセンター	12:30~12:50
	部会講演	演題：これからの高校数学科に求められているもの 講師：藤井 良宜 先生 宮崎大学副学長	12:50~13:50
	分科会	会場：シーガイアコンベンションセンター	14:10~17:20

分科会	発表題目	発表者	所属	発表県	指導助言者
1. 学習指導法と評価	『多様化した生徒の進路実現に対応した指導について』 ～基礎学力を定着させるための取組について～	幸田 光顕	熊本県立八代東高等学校	熊本	清水 紀宏 (福岡教育大学) 藤井 良宜 (宮崎大学)
	『アンケート調査・分析から見えてきたこと』 ～課題プリントを通した内発的動機づけと学習支援の取り組み～	加納 雅彦	大分県立鶴崎工業高等学校	大分	
	『自律的な学びの姿勢を育む指導の工夫』 ～グループ学習による学び合いを通して～	生島 英輝	沖縄県立名護高等学校	沖縄	
	『意思表示がない場合の合理的配慮』	本村 豊	学校法人高千穂学園小林西高等学校	宮崎	
2. 学習指導法と評価	『学習のつまずきに着目した授業の実践報告』	川崎 健太	長崎県立長崎北陽台高等学校	長崎	伊藤 仁一 (熊本大学) 梅原 守道 (宮崎大学)
	『学力、学習意欲向上を目指した本校の取り組み』	内田 成紀	東海大学付属熊本星翔高等学校	熊本	
	『福岡西陵高校における数学教育の実践』 ～「ノートをとる暇を与えない授業」と「やり直し10回のペナルティ」～	佐々木智章	福岡市立福岡西陵高等学校	福岡	
	『高千穂高校数学科におけるアクティブラーニング』 ～主体的・協同的な視点からの授業改善～	佐藤 隆裕	宮崎県立高千穂高等学校	宮崎	
3. 学習指導法と評価	『数学に取り組む姿勢を育む学習指導の工夫』	川島 達也	佐賀県立高志館高等学校	佐賀	伊禮 三之 (琉球大学) 伊藤 翼 (宮崎大学)
	『デジタルコンテンツを活用した数学指導について』	平嶋 浩明	福岡県立八女高等学校	福岡	
	『基礎学力の定着』 ～数学理解についての実態把握に向けて～	藤原 潤次	大分県立別府翔青高等学校	大分	
	『本当の“分かった”』 ～アクティブラーニング型の授業通し、“生きる力”の育成を目指す～	仲本 琴美	沖縄県立小禄高等学校	沖縄	
4. 学習指導法と評価 数学ⅠA	『問題が解けるための効果的な「対話のある学び」のタイミングを探る』	長野 俊史	大分県立中津南高等学校	大分	梶本ひろし (長崎大学) 寺井 直樹 (佐賀大学)
	『数学的な思考力・表現力を育む指導の工夫』 ～知識構成型ジクソー法と問題設定の工夫を通して～	石川 睦	沖縄県立普天間高等学校	沖縄	
	『本校数学科の取り組みについて』	山田 康智	佐賀県立鳥栖商業高等学校	佐賀	
	『基礎学力の定着』	牧山 俊郎	鹿児島県立出水工業高等学校	鹿児島	
5. 数学ⅠA 数学ⅡB	『1年次における基礎学力定着の取り組み』	長友 久和	熊本マリスト学園高等学校	熊本	大野 貴雄 (大分大学) 愛甲 正 (鹿児島大学)
	『ベクトルを利用した整数の四則演算』	堀田 広幸	鹿児島県立薩摩中央高等学校	鹿児島	
	『小さな博士プロジェクト(数学コース)の取り組みについて』 ～平成25～28年度の主な研究例(数列分野)～	森下 史也	長崎県立佐世保北高等学校	長崎	
	『数学的な活動の充実』 ～課題学習の再考～	田中 竜一	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	宮崎	
6. 大学入試 自由研究	『難関大学受験に必要な数学的アプローチの研究』 ～教科書が教えてくれない概念の体系化を目指して～	高原 智史	福岡県立筑紫丘高等学校	福岡	川崎 英文 (九州大学) 今 隆助 (宮崎大学)
	『複素数平面の研究』 ～全国主要大学の入試傾向とその対策～	江口 純	長崎県立諫早高等学校	長崎	
	『図・図示』 ～諸公式の図的解釈・証明～	白坂 繁	鹿児島工業高等専門学校	鹿児島	
	『大学入試における整数問題の分析と指導法』	河野 淳哉	宮崎県立日向高等学校	宮崎	

<b>28 (金)</b>	公開授業 授業研究	会場：宮崎県立宮崎北高等学校	9:50~11:50
---------------	--------------	----------------	------------

学年	単元	授業者(所属)	指導助言者(所属)	
3年	数学活用「ハノイの塔」	高塚 智昭 (宮崎県立宮崎農業高等学校)	清水 紀宏 (福岡教育大学)	藤井 良宜 (宮崎大学)
2年	数学Ⅱ「解と係数の関係」	重山 智博 (宮崎県立佐土原高等学校)	伊藤 仁一 (熊本大学)	梅原 守道 (宮崎大学)
2年	数学Ⅱ「微分法」	黒木 史敏 (宮崎県立宮崎南高等学校)	伊禮 三之 (琉球大学)	伊藤 翼 (宮崎大学)
2年	数学Ⅱ「積分法」	橋口 正 (宮崎県立宮崎大宮高等学校)	梶本ひろし (長崎大学)	寺井 直樹 (佐賀大学)
2年	数学B「ベクトル」	柳田 大介 (宮崎県立宮崎北高等学校)	大野 貴雄 (大分大学)	愛甲 正 (鹿児島大学)
2年	数学Ⅲ「極限」	根井 智洋 (宮崎県立宮崎西高等学校)	川崎 英文 (九州大学)	梅元 和宏 (宮崎県教育庁)

## ◇ 全体公演



**演題** ～九州から世界へ！宮崎発ローカル・ブランドの世界戦略とは～  
九州パンケーキに込めた想いと伝える力

**講師** 村岡 浩司 氏（有限会社「一平」代表取締役）

**【プロフィール】**

宮崎大宮高校卒業後、米国（COLORADOMESAUNIVERSITY／コロラド州）に留学  
アメリカ在学中に学生起業し、帰国後、小売卸業（輸入雑貨／アパレル）会社を起業設立  
平成11年有限会社一平に入社※平成16年同社代表取締役（現職）  
平成20年タリーズコーヒーインターナショナル（シンガポール）Managing Director  
平成26年株式会社「九州テーブル」を設立、社長に就任。日南市商店街活性化を目指す株式会社「油津応援団」（※はばたく商店街30選受賞）を設立、社長に就任（現相談役）  
平成27年台湾台北市に海外1号店となる「九州パンケーキカフェ台北富錦店」オープン。  
平成28年シンガポール進出九州パンケーキカフェは中華圏（中国、台湾、マカオ）での包括的FC契約を締結し、2021年までに約30店舗の海外（主にアジア）店舗を予定。  
多数の飲食店舗を経営する一方、NPO(非営利活動法人)を通じた地域貢献活動、九州各地でのまちづくり活動、食を通じたコミュニケーション活動にも取り組んでいる。

## ◇ 部会公演

### 小学校部門



**演題** 『主体的・対話的で深い学びのある算数授業』

**講師** 細水 保宏 氏（明星学苑教育支援室長兼明星大学客員教授）

**【プロフィール】**

神奈川県生まれ。横浜国立大学大学院数学教育研究学科修了。横浜市立三ツ沢小学校、横浜市立六浦小学校教諭を経て、筑波大学附属小学校に勤務。平成22年度より5年間副校長を務める。平成27年4月より、明星学苑教育支援室長兼明星大学客員教授に就任。併せて、横浜国立大学非常勤講師。ガウスの会会長、全国算数授業研究会前会長、教育出版教科書「算数」著者。また、小学校学習指導要領解説算数教科編（平成20年度版）作成協力委員。

**【著書】**

「細水保宏の算数授業の強化書」（小学館）	「考える楽しさを味わう算数」（東洋館）
「算数が大好きになるコツ」（東洋館）	「細水保宏の算数授業のつくり方」（東洋館）
「算数のプロが教える授業づくりのコツ」（東洋館）	「確かな学力をつける算数授業の創造」（明治図書）
「算数のプロが教える教材づくりのコツ」（東洋館）	「確かな学力をつける板書とノートの活用」（明治図書）
「算数のプロが教える学級指導のコツ」（東洋館）	「細水保宏の教材研究ノート」（学事出版）
「随想集『スカッとさわやかに！』」（東洋館）	他多数。

### 中学校部門



**演題** 『新教育課程における統計教育の在り方について』  
～求められる資質・能力への対応と具体的な教材事例を交えて～

**講師** 青山 和裕 氏（愛知教育大学准教授）

**【プロフィール】**

2005年 3月 筑波大学教育学研究科博士課程 単位修得退学  
2005年 4月 筑波大学大学院人間総合科学研究科 研究員  
2007年 4月 鳴門教育大学教員教育国際協力センター 講師  
2008年10月 愛知教育大学数学教育講座 助教  
2010年 4月 愛知教育大学数学教育講座 講師  
2011年 4月 愛知教育大学数学教育講座 准教授

**【著書】**

『教科教育学シリーズ 算数・数学科教育』一藝社（分担執筆）  
『日本統計学会公式認定統計検定4級対応「資料の活用」』東京図書（分担執筆）  
『小学校算数科の指導』建帛社（分担執筆）  
『親子で学ぶ 統計学はじめての図鑑』日本図書センター（分担執筆）

### 高等学校部門



**演題** 『これからの高校数学科に求められているもの』

**講師** 藤井 良宜 氏（宮崎大学副学長）

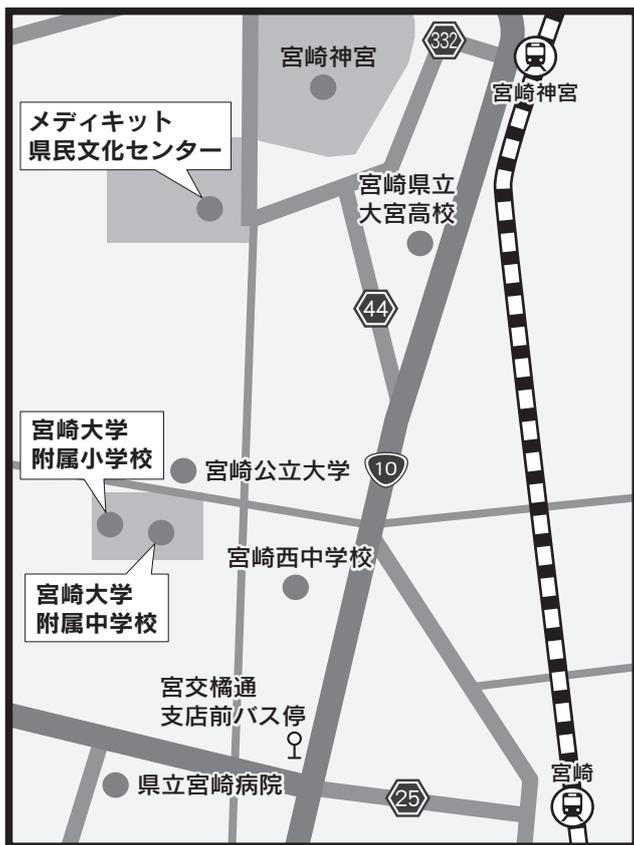
**【プロフィール】**

昭和63年 3月 九州大学大学院理学研究科数学専攻修士課程修了  
平成元年 4月 宮崎大学教育学部助手  
平成 2年 4月 宮崎大学教育学部講師  
平成 6年 3月 九州大学大学院で博士（理学）を取得  
平成 8年 4月 宮崎大学教育学部助教授  
平成20年 4月 宮崎大学教育文化学部教授（現在に至る）  
平成20年 4月 放送大学客員教授（現在に至る）  
平成25年10月 宮崎大学副学長（入試担当）

**【著書】**

『統計科学の最前線』（九州大学出版）分担執筆	『Rで学ぶデータサイエンス1 カテゴリーカルデータ解析』（共立出版）
『統計学—その基本的な考え方—』（放送大学教育振興会）	『医療系のための統計入門』（実教出版）分担執筆

## ◇各会場案内図



### メディキット県民文化センターへのバスについて

- 「宮交橋通支店前」バス停より約10分。
  - ・8:51発「綾(普通)綾方面」行き
  - ・9:06発「古賀総合病院(普通)宮崎神宮方面」行き
  - ・9:11発「国富(普通)国富方面」行き
  - ・9:30発「酒泉の杜(普通)宮崎神宮方面」行き
- 「宮崎駅」バス停より約15分
  - ・8:21発「古賀総合病院(普通)原町方面」行き
  - ・9:25発「酒泉の杜(普通)宮崎神宮方面」行き
  - ・9:32発「古賀総合病院(普通)原町方面」行き

## ◇各会場及び事務局

会場	住所	連絡先
メディキット県民文化センター	宮崎市船塚3丁目210番地	0985-28-3237
宮崎大学教育学部附属小学校	宮崎市花殿町7番49号	0985-24-6706
宮崎大学教育学部附属中学校	宮崎市花殿町7番67号	0985-25-1122
宮崎県立宮崎北高等学校	宮崎市新名爪4567番地	0985-39-1288
シーガイアコンベンションセンター	宮崎市山崎町浜山	0985-21-1155

事務局	代表	住所	連絡先
大会本部 宮崎県立宮崎北高等学校	井上 昇 和	宮崎市新名爪4567番地	0985-39-1288
小学校 宮崎大学教育学部附属小学校	河野 和 寿	宮崎市花殿町7番49号	0985-24-6706
中学校 国富町立本庄中学校	相原 和 徳	国富町大字本庄6686番地	0985-75-2557
高等学校 宮崎県立宮崎北高等学校	井上 昇 和	宮崎市新名爪4567番地	0985-39-1288

※各会場とも無料駐車場を用意していますが、できる限り公共交通機関でお願いいたします。  
 シーガイアコンベンションセンター および、宮崎県立宮崎北高等学校は無料シャトルバスを予定しています。  
 詳しくは、ホームページ「[www.miyazakikensu.jp](http://www.miyazakikensu.jp)」の九州大会のページでご確認ください。